

はがしの如き輕薄な不軌雷同的の運動を考ふし
 とを好まないのであるよし自首の自産を以て進歩を
 やこゝろのしのであることを勿論了解せよ其の
 働運動は自己本位より犠牲的精神を以てせよ
 子の此の後犠牲的精神を以て工人会の大いなる
 ありと多を感ふしのである

○安部磯雄

労働問題を考ふる時に二つの身をも考ふるに以てなる
 ぬ

一労働問題理想

如何なる方向の形か

二現権の事

労働問題は如何に可なりか

労働問題を解決するには以上の事を要から
 此ら多か必要であるかと考ふるに
 時によらざるにありませう即ち労働問題は如何にあ
 つしか現存は如何なる方向にせよと考ふるに
 如何なるもの政治と經濟とを比較對照して考ふるに
 政治は
 ①君主專制政治 ②立憲政治 ③共和政治
 以上の如き多文化の進歩ありしとある然るに經濟は如何
 と云ふにその政治は微ととし大ははる君主專制政
 治に絶對對立資本家の勢力がたゞ労働者は獲
 利がない然しなから其の然しは立憲政治の
 此が皆とせらるる然しなから此の労働者の